

■ 小林市立三松中学校

開催日：令和 6 年 7 月 11 日（木）13 時 50 分～14 時 40 分

受講者：2 年生 61 名

講師：大館 真晴 氏

・応募のきっかけ

⇒ 生徒たちは毎年岩戸神楽を舞っているため、言い伝えや歴史を話してほしい。

また、高千穂の岩戸と関係があるのか分かれば話してほしい。



小林市の岩戸神社について、岩戸・岩屋とは、洞窟、洞穴を指す言葉です。岩戸神社は元々野尻町に存在していましたが、洪水で流されてしまったため、今の場所に移設されており、元々の神社の場所に巨大な洞窟があったと伝わっています。

したがって、高千穂町の岩戸神社とは直接的なつながりがあるわけではないようです。

神楽のことを「神舞」と呼ぶ地域は、高原や都城など、旧薩摩藩の地域であり、舞の共通点としては、刀剣や薙刀を使った舞が多いことです。これは、勇猛な薩摩藩の影響を受け、現在まで伝わっているものと考えられます。

また、小林市一帯は、昔は夷守（ひなもり）と呼ばれており、朝廷の施設が設置されていました。宮崎市から小林市に向かう国道 268 号は、当時から道として使用されていたようです。

・児童の感想

⇒ ・岩戸神社が小林市にできた理由や岩戸神楽のことが沢山わかりました。

・今回の学習を通して神楽と稲作が深く関わっていることや神舞という言葉が使われている地域の共通点などを知ることができた。